



北九州市議会議員2期目スタート!! 新会派名は市民とともに北九州

ご挨拶が遅くなりまして、申し訳ございません。今年一月の北九州市議会議員選挙では無事に2回目の当選をさせていただきまして、2期目が順調にスタートしております。様々に関わってくださった方々のご希望に応えられるように、2期目も全力で活動をして参ります。今後とも変わらぬご指導・ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2期目は会派名が変わり『市民とともに北九州』という名前に変わりました。立憲民主党と国民民主党と無所属の議員がいる会派です。市民の皆様のお声をしっかり行政に届けて参りたいと思う気持ちは皆一緒であります。ご要望等ございましたらご遠慮なくご連絡を賜りましたら幸いです。

議会の中では議会運営委員会の委員になりました。議会改革や議会の在り方についても考えていくチャンスと思い引き受けました。常任委員会では建設建築委員会の委員長を仰せつかりました。初めての委員会で初めての委員長は毎回緊張いたしつつも、1期目はソフト面に多くの時間を割いてきましたが、2期目はハード面でもより良い北九州を作っていくために働いて参りたいと考えております。

2期目も皆様とご一緒に、より良い北九州を目指します!



北九州市議会議員 **森 結実子**



本会議報告

令和7年度の予算を決める議会です

2月末から2月定例会がおよそ1ヶ月ありました。

令和7年度予算のテーマは『成長への反転攻勢予算～もっと人を魅きつけるまち～』というテーマで特に『女性』『観光』『サステナブル』の3つが重点テーマです。

令和7年度当初予算は以下の通りで、予算規模は過去最大です。

一般会計	6,434億8,300万円
特別会計	4,397億7,500万円
企業会計	3,240億4,200万円
総額	1兆4,073億円

2月議会でも質問にたちました

1 門司赤煉瓦プレイスについて

門司赤煉瓦プレイスは、旧サッポロビール九州工場の歴史的建造物群で、門司麦酒煉瓦館など4棟が現存し、国の登録有形文化財です。市は、観光客減少と老朽化対策のため、市所有の門司麦酒煉瓦館と駐車場の管理をNPO法人から民間事業者（株式会社スピナ）へ移行します。

NPO法人の主要収入源であった駐車場が失われることで、NPOが所有する醸造棟の維持が困難になることを懸念。醸造棟の雨漏りなどの現状を改善し観光活用するため、4棟全てを国指定の重要文化財とし、国や県からの補助金導入を提案しました。



これに対し市は、「建物を守り、価値を活かす」方針を堅持。重要文化財指定は活用に制約が生じ、公的補助金への依存と高額な維持費用が課題となるとの見解を示しました。市は、登録有形文化財のまま民間の創意工夫で収益を上げ、持続的に保存活用する方針です。横浜赤レンガ倉庫などの成功例を挙げ、今後もNPO法人と連携し、市民に愛される施設としてまちづくりを進めるとしています。



2 小倉駅のトイレについて

小倉駅の早朝・深夜におけるトイレ不足を指摘しました。特に新幹線からの乗り換え客にとってトイレの場所が分かりにくく、既存の駅外トイレ（ビエラ小倉脇、新幹線口1階）は、スロープが長く人通りが少ないため、安全性に懸念があることを市民の声として挙げました。

これに対し、市側は小倉駅が交通の要衝であることを認識し、以前から公衆トイレの整備に取り組んできたと説明。特に駅3階の公衆トイレは、下水管の制約がある中で平成12年に整備され、令和3年には通路の明るさやスペースの改善、入口の工夫などリニューアルを行ったと述べました。



私が提案した、モノレール小倉駅構内トイレの一般開放については、市は、駅員の負担増や維持管理コストの増加といった課題があることを認識しつつも、今後、北九州高速鉄道株式会社と相談する意向を示しました。これは、駅の玄関口として「おもてなしの心」で利用客を迎えるための前向きな検討と言えます。



本会議報告 補正予算などの 審議をしました

専決処分の報告 1件 その他の議案 4件
条例議案 3件 補正予算案 1件
合計9件が上程されました。

補正予算は、米国関税措置や物価高などの社会経済情勢や国の政策に対応し、切れ目のない施策の推進を目指したものです。補正予算額は8億6,890万円の増額です。

地域経済の活性化	3億3,700万円
子育て・教育環境の充実	1億7,190万円
社会インフラの安全対策	3億6,000万円

..... 6月議会でも質問にたちました

1 中学校のスタンダード標準服について

北九州市立中学校のスタンダード標準服について質問しました。標準服は経済的負担軽減や学校への帰属意識向上に繋がるとし、多様性やSDGsの観点からブレザー型への統一を提案。詰襟・セーラー服の生産縮小による入手困難や価格高騰、そして他自治体のリサイクル事例を挙げ、北九州市でもリサイクルに取り組むべきと提言しました。

教育長は、スタンダード標準服導入の背景を説明し、着用率は学校により異なると述べました。標準服の納期については、1月末までの注文で入学式に間に合うよう販売店と連携していると回答。リサイクルについては、市内の企業とカンコー学生服が連携し、2024年度から制服・体操服の循環型プロジェクトを開始していることに触れ、今後も環境教育の充実を図る考えを示しました。

2 河川の美化について

小倉南区の稗田川のゴミ問題を挙げ、清掃活動が行き届いていてもゴミが目立つ現状を指摘しました。一方、比較的きれいに保たれている志井川では、以前行われた住民参加型ワークショップが、住民の川への愛着を育み、美化に繋がっているとの仮説を提示。この成功事例を基に、市内の各河川でも同様のワークショップの開催を提案しました。

市側は、河川の機能として治水、利水、そして環境機能が重要であると述べ、特に街中の河川では環境機能が重要であると強調しました。志井川や八幡西区の撥川、板櫃川の「水辺の楽校プロジェクト」など、市民参加で河川整備や美化活動が成功している事例を複数紹介し、ワークショップが河川への愛着を育む有効な手段であると認識を示しました。市長は、今後も地域からの要望があれば、これまでの経験を活かし、ワークショップ開催を支援していくと回答しました。

3 旧JR九州本社ビルの売却について

旧JR九州本社ビルが日本の近代経済や鉄道史、近代建築の変遷を物語る貴重な建造物であり、日本遺産「関門“ノスタルジック”海峡」の構成文化財でもあることから、市がその価値を認め取得・保存活用を目指してきた経緯があるにも関わらず、突然売却に至った理由を質問しました。文化財保護審議会でビルの普遍的価値を測るべきだと提言しました。

市側は、旧JR九州本社ビルが門司港レトロの歴史を伝える建物であることを説明しました。市は2005年にJR九州から取得後、カフェ等として一部活用し、2019年にはホテルとしての活用を目指し公募しましたが、コロナ禍や物価高騰で実現しませんでした。

その後、民間ヒアリングの結果、貸付よりも売却の方が民間参入の可能性が高まることが判明。早期活用を望む地域の声も踏まえ、民間への売却による活用が地域の活性化に繋がると判断したと説明しました。市は取得当初から民間活用の方針を一貫しており、文化財指定や文化財保護審議会への諮問は予定していないと述べ、門司港レトロ30周年の節目に売却が新たな出発点となると締めくくりました。



1月6日 日本製鉄賀詞交歓会
1月6日 基幹労連新春政労使懇親会
1月8日 商工会議所新年賀詞交歓会
1月11日 消防出初式
1月12日 はたちの記念式典
1月13日 八旗八幡神社どんど焼き
1月13日 東谷地区新年祝賀会
1月14日 希望のまちプロジェクト起工式
1月14日 北九州青年会議所賀詞交歓会
1月17日 北九州市議会議員選挙告示日
1月19日 蒲生八幡神社どんど焼き
1月24日 北九州市防水工事業協同組合賀詞交歓会
1月26日 北九州市議会議員選挙投票日

2月9日 JR労組交通重点政策意見交換会
2月10日 議会全体会
2月13日～19日 2月議会勉強会
2月21日～3月26日 2月議会
4月4日 北九州市立大学入学式
4月14日 西鉄労組政策セミナー
4月24日 議会運営委員会
4月26日 北九州メーデー
5月8日 建設建築委員会
5月11日 基幹労連福岡県本部ふれあい対話集会
5月22日 建設建築委員会
5月23日 小倉南区議員協議会
5月26日 視察／志明館
5月29日 議会運営委員会
5月31日 九州産業遺産学会シンポジウム
6月2日 議会運営委員会
6月5日～13日 6月議会
6月15日 守恒町内会ディスコン体験会
6月18日～20日 会派視察／徳島県
6月26日 建設建築委員会



▲会派視察／志明館



▲会派視察／神山まるごと高専(徳島県)

初代門司駅遺跡問題と 文化財保護への決意

5月31日に開催された九州産業遺産学会シンポジウム「埋蔵文化財としての産業遺産」で、初代門司駅遺跡に関する北九州市の対応について報告しました。初参加で緊張しながらも、有識者から「この問題が全国的な文化財保護を考えるきっかけになった」と聞き、自身の活動が無駄ではなかったと喜びました。

報告では、初代門司駅遺跡の機関車庫や倉庫の基礎が良好な状態で出土し、学会から保存要望が出されたにもかかわらず、2024年1月に武内市長が「一部移築」を発表し、有識者の意見を歪曲したと厳しく批判しました。さらに、日本イコモス国内委員会や各学会からの保存要望を市が無視し、議会で予算削除が可決された後も、市長が事実と異なる記者会見を繰り返したと指摘しました。

市が一般市民向けの説明会をほとんど開かず、文化財保護審議会も経ずに遺跡解体を強行したこと、さらにはイコモス本部からの緊急声明やヘリテージアラートも無視し、議事録や判決書も不存在であったことに、市を批判しました。

私は、自身の考古学・文化財保存の知識から、初代門司駅遺跡は技術的に地下保存が可能であったと主張。「二つも世界遺産があるまち」の可能性を捨てた市の対応を「愚かな蛮行」と断じました。現在も続くサッポロビール元醸造棟の保存問題にも触れ、北九州市の文化財に対する意識の低さと行政の未熟さを指摘。今後有識者と連携し、北九州の文化財保護に尽力する決意を新たにしました。



森ゆみ子プロフィール

- 神奈川県平塚市生まれ(昭和41年10月4日)
- 玉川大学文学部芸術学科美術専攻卒業(平成元年3月)
- 株式会社文化財保存計画協会入社(平成元年5月～)
- ホーチキ株式会社派遣勤務(平成3年8月～)
- 結婚(平成6年6月)
- 森とアメリカビッツバーグ市へ(平成7年5月～11月)
- 北九州市議会議員森浩明事務所勤務(平成9年2月～)
- 夫、森浩明 他界(令和元年10月15日)
- 北九州市議会議員2期目
- 市議会での会派は市民とともに北九州
- 市議会での委員会は建設建築委員会委員長

【好きな食べ物】イチゴのショートケーキ・チョコレート
【好きな動物】猫・うさぎ 【趣味】茶道(表)・コーラス

ゆみ子の御用聞き

昔から酒屋さんなどが注文を聞いて回っていた『御用聞き』のように、皆様の日常のお困りことやご意見など、伺って参りたいと思っております。ホームページ・Facebook・お電話などで、お気軽にご相談ください。



Facebook



ホームページ



電話する

www.facebook.com/morihiroakioffice/

moriyumiko.jp

093-964-6069 (森ゆみ子事務所)